

ADPISA 2026年度 シラバス

■ 基本情報

科目名	情報システム学(エントリー編)	
科目番号	301	
担当講師	宮川裕之	
分類	必修	
科目総時間	15	
対面/OL 日数	2日	

■ 科目の説明

	情報システムを、機械(IT)と人・制度を含む広義の対象として捉え、それを発注し判断する側(施主)の立場から「観る」ための科目である。自分の業務を素材に、要の情報・DIKS(データ・意図・知識・スキル)、ユースケース図、ソシオテック・マトリクスといった見方を使って業務の構造を観て、AIを含む技術をどこに置き、何を人に残すかを見極める。情報システム系科目群の入口として、後続のプロジェクトマネジメント・分析基礎・情報科学概論に共通する視点と用語(施主・要の情報・3つの力・構造の5要素)を据える。ITの知識は前提としない。
授業の概要	・情報システムを、技術の集合ではなく「情報+人+制度で価値を生む構造」として観る目が身につく ・自分の業務を素材にするため、要の情報・DIKS・ユースケース図・ソシオテックの見方をその場で自業務に当てられる ・技術操作ではなく、発注し判断する側として意図を構造として伝え・判断する力の土台を築ける
特色とメリット	・広義の情報システム(機械的機構と人的機構)を、発注・判断する側の立場から説明できる ・自業務の要の情報を見極め、DIKS(データ・意図・知識・スキル)で仕分けられる ・自業務をユースケース図で構造として表し、構造のズレと再設計の方向(Why・How)を挙げられる ・ソシオテック・マトリクスでAIの配置と組織への波及を読み、人に残す額分と発注条件を見極められる ・systematicとsystemicを区別し、3つの力(Why/How/What)で情報システムの全体像を束ねられる
学習目標	
受講の前提条件	特になし(ITの知識は前提としない)

■ 学習設計(内容と時間の対応)

回	学習内容	時間(分)	種別	備考
1日目 事前学習	・事前学習資料 第1～4章の通読(広義の情報システムと施主の立場/要の情報とDIKS/ユースケース図と情報の流れ/構造のズレと再設計の3つの力) ・AIチューターとの対話、対面への持ち寄り(※自業務の要の情報・ラフなモデル)	150	個別学修	資料第1～4章・AIチューター
1日目	自業務を構造として観る(4コマ) ・① 要の情報とDIKS: 自業務の要の情報を見極め、DIKSで仕分ける ・② ユースケース図: 自業務を機能の視点で観てモデルにする ・③ ズレと再設計の方向: 構造のズレを拾い、Why・Howで方向を立てる ・④ 統合と2日目への接続: 代表事例を選び、準備を整える	240	対面	60分×4コマ/Miro
1日目 事後学習	・気付きシートの記入、Miroボードの整理	30	個別学修	気付きシート
2日目 事前学習	・事前学習資料 第5～6章の通読(ソシオテック・マトリクスの読み方/systematicとsystemic・アーキテクト) ・AIチューターとの対話、対面への持ち寄り	150	個別学修	資料第5～6章・AIチューター

2日目	AIの配置と組織への波及を施主として見極める6コマ ・① 自分たちのモデルをソシオテック・マトリクスに載せる ・② 配置と波及 :AIを置き、制度・行動・価値観への波及を辿る ・③ 受け止めと人の領分、施主の要求条件 ・④ 発表と講評 :systematicとsystemicの見方に出会う ・⑤ まとめ :3つの力とアーキテクトで束ね、後続と業務へ接続	300	対面	60分×5コマ／Miro
2日目 事後学習	・気付きシートの記入、全体の振り返り	30	個別学修	気付きシート
合計		900		

■ 参考文献				
参考文献・ オンライン科目	・ADPISA-E 情報システム(エントリ編)事前学習資料(全6章) ・AIチューター(個別学修用)、Miro(集合学修用) ・中身はADPISA-A 事前学習資料の正典に準拠。理論的背景は事前学習資料に記載			